

口腔ケアチーム

口腔ケアチームの役割は、単に入院患者さんの口腔内清掃に留まらず、口腔が本来関与する摂食機能の維持を含めた集学的口腔機能管理を実施することにあります。

当院口腔ケアチームにおける活動を以下に示します。

①周術期等口腔機能管理

2012 年に健康保険適応になって以来、主に外科系症例の周術期口腔関連合併症の防止（プラークフリー法による術前後専門的口腔清掃や気管内挿管に伴う偶発症防止対策）、化学療法・放射線治療施行症例の口腔管理（特に口腔粘膜炎対策）を行っています。複数の診療科では既にクリニカルパスに組み込まれています。また、骨修飾薬投与前口腔内スクリーニングも積極的に実施しています。

②入院患者に対する専門的口腔機能管理

高齢者、認知症、気管内挿管中など誤嚥性肺炎発症高リスク症例に対しては、よりの確で綿密な口腔衛生管理が必要です。入院患者さんの口腔管理は主に看護師が担っており、当チームは看護部と連携して技術的指導や実際の管理での支援を行っています。

③院内多職種連携チームメンバーとしての活動

NST、GBST、糖尿病センターのメンバーとして、口腔衛生指導や口腔機能維持に関する支援を行っています。

以上の活動を、歯科医師と歯科衛生士が協働して実施しています。また退院後の口腔機能管理の継続も QOL 維持の観点から重要視しており、かかりつけ歯科医療機関にスムーズな引き継ぎができるよう、地域歯科医師会と連携した情報提供書を作成・活用しています。

今後もより一層各科医師や多職種と連携した、効果と効率性を高めた口腔機能管理を追求すべく努力していく所存です。